

国司巡行と能登・加賀の遺跡

家持と為房



製塩土器



人面墨書土器



舟形木製品



花文帯金具



出拳関連木簡



銅製分銅

令和5年  
7月15日(土)~9月3日(日)

入館無料・期間中無休

石川県埋蔵文化財センター

(問合せ先) 〒920-1336 金沢市中戸町 18-1

電話 076-229-4477

(開館時間) 午前9時~午後5時 (入館は午後4時30分まで)

(主催) 石川県教育委員会

公益財団法人石川県埋蔵文化財センター



展示解説 「まいぶん・バックヤード・ツアー」  
(8/14~8/25の平日午前開催)

# 第25回いしかわの発掘展 国司巡行と能登・加賀の遺跡—家持と為房—

奈良時代に越中守に任命された大伴家持は、国司の職務として能登の諸郡を巡行し、美しい自然の情景や地域に根ざした人々の暮らしを『万葉集』に遺しています。また、平安時代に加賀守に任命された藤原為房は、自身の日記（『為房卿記』）に都から加賀国へ下向し、社寺を巡拝した様子を事細かに記しています。

展示では、二人の国司による能登・加賀の巡行を遺跡でたどり、発掘で出土した遺物を紹介することで国司が見た奈良・平安時代のいしかわの風景を探ります。



墨書土器「市殿」



海獣葡萄鏡



緑釉香炉

石川県埋蔵文化財センター  
〒920-1336 金沢市中戸町 18-1  
電話 076-229-4477

## 主な展示品

資料名	遺跡名	所在地	時期
せいえんど き 製塩土器	大谷中学校東遺跡	珠州市	7~8世紀
じんめんぼくしよど き 人面墨書土器	小島西遺跡	七尾市	8~9世紀
ぼくしよど き 墨書土器「市殿」	古府ヒノバンデニバン遺跡	七尾市	8世紀
かいじゅうぶどうきよう 海獣葡萄鏡	寺家遺跡	羽咋市	8~9世紀
りよくゆうこうろ 緑釉香炉	戸水C遺跡	金沢市	9~10世紀
すいこ かんれんもつかん 出拳関連木簡	畝田・寺中遺跡	金沢市	8世紀
かもんおびかなく 花文帯金具	畝田ナベタ遺跡	金沢市	9世紀
はじきさら 土師器皿	古宮遺跡	羽咋市	11~12世紀
どうせいふんどう 銅製分銅	古府シマ遺跡	小松市	鎌倉時代
ふながたもくせいひん 舟形木製品	田尻シンペイダン遺跡	加賀市	11世紀



## 交通案内

〔バス〕北陸鉄道金沢駅兼六園口3・6番、金沢港口5番にて乗車  
東部車庫/金沢学院大学/上辰巳行き 末停留所下車 徒歩約15分

〔自動車〕金沢西I.Cから約40分、金沢森本I.Cから約30分

背景上：『万葉集西本願寺本』国立国会図書館  
背景下：『大卿記』国立公文書館